

教材教具名	これは何？～ものの名前～	教科（ 国語 ）
-------	--------------	----------

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方）	発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等
------------------	---------------------------

- 1 ねらい
 ものの名前には、そのものの名前（下位語）と総称（上位語）があることを知り、語彙を増やす。
- 2 発達段階
 文字の認識の難しい生徒から小1程度の漢字の読める生徒が混在しているグループでの一斉授業で取り組んだ。
- 3 使い方
 黒い布で隠されたものの名前を当てる。「何がでるかな？」と盛り上げ、ひとりずつゲーム感覚で行う。それらをかごに入れてまとめて何というか？（「果物・フルーツ」上位語）を出させたあと、では、他にどんな下位語があるか（リンゴ、バナナ...他）考えて出させる。

児童生徒の反応や教材の評価	使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）
---------------	----------------------------------

何が隠れているか生徒の興味をひき、また身近な食べ物を使ったことで自信をもって生徒が答えていた。実物や模型、絵や写真なども使い、果物にもいろいろあることを楽しく学習することができた。2回目は「楽器」に取り組み、その後「動物」「植物」...とシリーズで取り組んでいきました。